

学生・教職員・保護者のみなさんへ

中央大学保健センター

## 海外渡航について（注意）

休暇中に海外渡航を計画されている方も多いと思います。

海外では思いもかけないトラブルに遭遇することがあります。あらかじめ適切な安全対策を講じておきましょう。

**特に感染症の流行、治安については要注意です。必ず事前に情報を得ておきましょう。**

下記の点によく注意し、安全な渡航、海外生活を心がけてください。

### 1. 健康管理（感染症など）

世界の多くの国々で様々な感染症が流行しています。日本国内では見られない感染症が発生していることもあり、十分な注意と対策が必要です。渡航先で流行している疾患について、下記のWebサイトなどで事前に情報を入手し、適切に対処しておきましょう。渡航先によっては事前の予防接種が必要なこともあります。

感染症の中には動物から感染するものも多く、海外での安易な動物・鳥類との接触は避けましょう。特に狂犬病は致死率が極めて高く（ほぼ100%）、最も注意すべき疾患です。

また、海外での麻しん感染や国内での集団感染が話題になっています。麻しんの罹患歴やワクチン接種歴がない方は予防接種を受けておきましょう。

感染症のほかにも、健康面での注意点はいくつかあります。特に、食中毒、虫さされ、日焼け、エコノミー症候群などはトラブルとなることが多く、事前の対策が重要です。

また、通院中の疾患がある場合には、渡航前に主治医と相談しておく必要があるでしょう。

《参考》 [感染症情報（厚生労働省）](#)

[ここに注意！海外渡航にあたって（厚生労働省検疫所 FORTH）](#)

[世界の医療事情（外務省）](#)

[中央大学保健センター](#)

### 2. 違法薬物

違法な薬物はたった一回の使用でも心身に大きなダメージを与えます。興味本位での使用でも、生涯にわたり恐ろしい後遺症に悩まされることがあります。正しい知識と断る勇気を持ちましょう。

海外旅行中に薬物所持や密輸容疑で逮捕される例が増えています。多くの国や地域では、麻薬・薬物犯罪に関する罰則が厳しくなっており、中国において日本人が死刑に処せられた例もあります。未成年でも逮捕されます。「自分は捕まらない」といった甘い考えは捨てましょう。

犯罪組織は、金銭的な謝礼などさまざまな手段を用いてアプローチしてきます。思いがけず犯罪に荷担しないよう十分注意してください。

各人が「正しい知識」と「強い意志」を持ち、違法薬物に関わることをしないよう行動しましょう。人生を自らの手で破滅させるような行為は絶対にやめましょう。

《参考》[薬物乱用の基礎的知識（東京都福祉保健局）](#)

[薬物乱用の恐ろしさ（警視庁）](#)

[海外における薬物犯罪・・・もしかして犯罪に加担していませんか（外務省）](#)

### 3. 治安・犯罪行為

海外で事故や詐欺、強盗の被害にあうケースが多発しています。治安のよい日本での生活に慣れている日本人は、海外で予想もしない事件や事故に巻き込まれることが多いようです。

海外では「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが何よりも大切です。危険と隣り合わせであることを自覚し、意識を常に「海外モード」に切り替えて行動しましょう。

《参考》[外務省 海外安全ホームページ](#)

[海外安全お役立ち情報](#)

↑リンクを開くと「海外安全ガイド」のページに飛びます。